

平成18年度第2回県民活動審議会の概要について

1 開催日時・場所

平成18年7月25日(火) 13:30~15:30 県議会棟第2特別委員会室(6F)

2 出席者

委員 樋口会長 横田副会長
梶間委員 河波委員 草平委員、嶋津委員 杉山委員 高見委員
畑山委員 福森委員 藤原委員 船崎委員 宮川委員 山崎委員
山田委員 (17名中15名 出席)

パザール
県 「やまぐち県民活動きらめき財団」藤屋副理事長
環境生活部次長、県民生活課長 やまぐち県民活動支援センター副センター長、県民活動推進班長ほか職員3名

3 概要

(1) 会議概要

・審議事項

「平成18年度県民活動促進事業について」、「平成18年版県民活動白書の作成について」、「平成18年度県民活動(社会貢献活動)に関する実態調査の実施について」等について、事務局から案を提案し、委員から意見を聴取した。

(2) 主な意見等

《平成18年度県民活動促進事業について》

- ・県民活動ボランティアフェスティバル(やまぐち県民活動きらめき財団等主催)は、参加団体のネットワークが強化されるメリットがあり、過去に県内の大学を会場として実施したように県内の各地域で順番に開催することとしてはどうか。
- ・「やまぐち県民活動パワーアップ賞」受賞団体の受賞後のフォローが必要ではないか。

《平成18年版県民活動白書の作成について》

- ・第1部のデータ等について、根拠となる調査の実施対象を注釈として付け加えるとよい。
- ・白書は、その性質上、ありのままの県民活動の実態を記載することでよいが、経年比較などの分析結果を施策等に反映させるよう努めてほしい。

《平成18年度県民活動(社会貢献活動)に関する実態調査の実施について》

- ・本調査の前に、予備調査を実施するのが通例の方法だが、県民活動団体の代表者や事業者の代表等で構成されている審議会委員を対象に事前に調査表を送り、確認するようにすれば、予備調査の代替となる。
- ・大学生がボランティア活動の担い手になっているケースも多いので、調査の対象として、県民活動団体、事業者(企業等)のほか、大学を加えたらどうか。